

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

02-003

大 政事外外儀官
大 務務 典房
臣 秘官官審審長長

北経環 資総 外
大アア 察活 研
使使大 審審 長

総口対文会厚情研

察人電在儀警史オ

外 報 官
参 報 際 内 外

文 長
審 一 二

登 長
参 政 保 対 旅 外

長
審 地 中 東
参 照 東 西

北 大 長
審 一 二 保 衛

中 南 長
参 一 二

歐 一
審 西 口 洋
一 西 東
一

近 了 長
参 一 二 ア ア
一 二

一 長
次 経 送 送
参 経 漁 国
一 経 上 国
一 安 永 二

参 海 参 査

経 協 長
審 政 司 幫 無
審 調 技 有 理

条 長
審 条 協 規

国 長
審 政 経 人
審 軍 社

秘 密
科 原

情 調 長
参 清 析 調
企 安

総 番 号 R112848

月 3日

平成 4年 6月 3日

韓 国 発
本 省 着

亜 北

外 務 大 臣 殿

柳 大 使

事務連絡

秘密指定解除
公文書監理室

第2142号 秘

(以下FAX送信 SO1868-01)

秘密指定解除

公文書監理室

秘

S001863 -01

武蔵ア北長へ

小野より

1日、辛泳淳(シ・ヨン)前韓国原爆被害者協会(以下「協会」)会長が、日本の宗教関係者3名を伴って、柳大使を表敬訪問した際に、最近の協会のあり方につき次の通り述べておりました(当方、小宮、相馬同席)。長年、協会の運営にたずさわってきた者の発言として、最近協会の性格が若干変化しつつあることなどが窺われますところ、何ら御参考まで。

2月に協会内で幹部選挙があったが、会長であった自分(辛)を含め現役であった幹部は殆ど落選して、新しい会長・副会長らが選ばれた。しかし、新幹部の協会運営のあり方には問題がある。

協会の幹部は、昨年日本政府より大韓赤十字社宛に提出された在韓被爆者支援拠出金の使途を含め在韓被爆者に対して様々な広報を行なうと共に、今後の活動に関する議論を行なうなど、高齢化が進む在韓被爆者にとって真の利益となることに意を用いなくてはならない。しかるに、新会長らは、かかる地道な活動を怠り、協会の活動経費を如何に調達するかということばかりに熱中している。例えば、日本の支援団体に、活動経費に困っている旨の手紙を出して、資金面での援助を求めたりなどしている(このため、日本の支援団体サイドからは、当惑と不信の声が聞こえてきている)。

協会の新幹部がそのような状況であるから、多くの会員は、日本政府の支援拠出金の使途(健康福祉センターの建設等)を十分認識しているとは言えない。そのために、多くの会員は、(生活に困窮している者が多いこともあって)生活保障費のような現金支給を行なうべきとの主張を行ない、赤十字社や保健社会部、外務部に圧力をかけようとしている。

自分(辛)としては、このような状況をもたらした協会の新幹部たちの「カネ本位」的なあり方に憂慮の念を禁じ得ない。